



Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

週報

例会 NO 2 (発行NO)

1990.11.14 (発行日)

国際ロータリー第275地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

1990～1991

RIテーマ

ロータリーを高めよ

— 思いを尽くし熱意を尽くし —

RI会長

パウロV.C. コスタ

1990～ 91会長方針

友情と熱意を育てよう

第2回例会報告(11/7)

特別代表 由井 重光

拡大補佐 篠塚 武雄

司会 副幹事 小城 章員

☆点 鐘 会長 田中 實

☆ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 菊池 敏

☆ゲスト紹介 会長 田中 實

津戸 最 (卓話講師: 東京国立RC)

☆ビザ紹介

土方 弘治 (東京多摩RC)

守屋 隆範 (東京多摩RC)

☆会長報告 会長 田中 實

* 10/31(水) チャーターナイト準備委員会を開催しました。皆さんで応援し成功させましょう。

* 11/5(月) 狛江多摩川RC認証状伝達式に出席、皆様ご苦労さまでした。



* 本日第1回理事会を開催しました。要点を報告します。・前回決定していた活動方針について2～3追加があったので承認しました。

・ガバナー公式訪問、12月5日を了承。

・クラブ細則の一部変更の為、臨時総会の開催を決定。(11月21日)

・次年度の役員、理事の選出手続きを開始する事。 以上

☆幹事報告 幹事 宮本 誠

* 秋山ガバナーから多摩GRCの創立会員にロータリアン総論の本を贈呈されました。ロータリーをよく知って頂くために、よく読んで下さい。

* ロータリーの綱領がガバナー事務所から届いています。事務所、自宅等に掲げて下さい。

* RI第275地区新会員ロータリー情報セミナー

日時 11月15日(木) 12:00～13:00 登録

13:00 開会

16:00 閉会

場所 高輪プリンスホテル

全員が出席して、ロータリーの勉強して下さい。

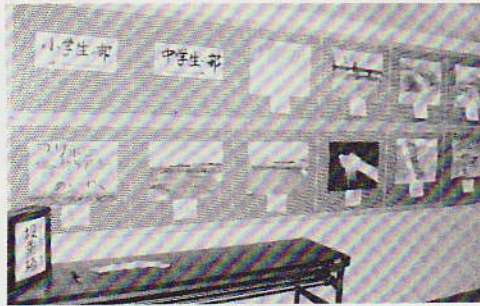
* 1990～91年度年間予定表

来年6月までの当クラブ、周辺クラブ、財

団、地区関係の予定表をお配りしました。
充分参考にして自分の予定を立てて下さい。

【東京多摩RCからのご案内】

- * 『ぼく、わたしたちの環境、絵画展』
- 開催期間 11月8日(木)～13日(火)
- 会場 聖蹟ショッピングセンター(5階)
A B館連絡ブリッジギャラリー
- 作品 市内の小、中学校生徒の絵画展



- * 第5回 中学校弁論大会『私の主張』
- 日時 11月17日(土) PM 1:30～5:30
- 場所 聖蹟桜ヶ丘SC A館6F アウラホール
- クラブの活動の参考の為に、参加し手伝いの要請もありましたので、出来る方はこの期間に顔を出して下さい。

* 次年度の役員理事選出のプロセスについて説明し、御了解を頂きたいと思ひます。

次年度の役員理事を選出する時期に來ています。クラブ細則によりますと、次年度役員理事の選挙は年次総会(12月最終例会)で選挙する事になっています。それに先立って1カ月以上前(11月最終例会)に次年度役員理事候補者名を発表しなければなりません。

その候補者の指名の方法は、

- ①指名委員会で指名をする。
- ②出席会員全員により指名する。

以上2通り出来ると細則ではなっていますが、理事会では指名委員会で指名する方法に決定しました。

この委員数と、誰にするかは理事会に一任して頂けますか、お計りします。(拍手)

* 指名委員は14日の例会で発表します。

11月、12月は重要な事がありますので、出席を宜しくお願ひします。

* 15日の新会員ロータリー情報セミナーは例会振替はしません。14日も21日も平常通

り、例会を行います。但し15日出席された方はMUになります。

☆委員会報告

★出席委員会

吉尾警太郎

〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	33	27		6	81.82%
前回訂正	33	31	2	0	100%

〔先週のメイクアップ〕

横倉(多摩RC)、増川(稲城RC)

〔欠席届者〕 大松、萩生田、隅、風間、高野、永田

前回の第1回例会は出席率100%を見事に達成しました。

【海外でのメイクアップの話】

伊神 稔

ご指名ですので、メイクアップの感想を述べさせていただきます。

10月16日 東京大井RC(高輪プリンス)

10月16日 サーファーズ、パラダイテRC(オーストラリア、ゴールドコースト)

オーストラリアのMUは10月上旬のロサンゼルス出張時に努力を怠って出来なかつた為今回は必ず実行しようと決意しておりました。

ゴールドコーストへ

20日に到着と同時にロータリークラブの情報を集め、当日は例会場のANAホテルへ1時間前に行きました。何度もオーストラリア、イングリッシュでの挨拶を練習したり、例会場を下見したりで、まるで初体験にのぞむ少年の様に、不安と期待で身体が震えました。

ANAホテルの広い例会場では、既に従業員が飲み物の販売コーナーを用意していましたが、S. A AのMRジョンが来たのは10分前でした。彼は本当に心から歓迎してくれ、登録もスムーズに終わり、ほっとしました。



ゲストカードを胸にリファで待つ間に、ジョンが次から次とメンバーを紹介してくれ、オーストラリア流のビール歓迎が続きまして。日本に対する関心の高さもあり、次々の質問にペンを片手の筆談で大変苦勞しましたが、何とか気持ちは通じ合いました。20、30分後には、クラブ員は81名で、最年長のMRヘンリーは91才、メンバーは10ヶ国の出身者で構成されている事等、少しづつ理解出来ました。

言葉の他で困ったのは、ビール歓迎でした。この国では本当によくビールを飲み、明るく楽しい会話をする生活が習慣となっている様です。必ず2本のビールを持って、私や他のゲストを囲み輪が出来上がります。小ビンのビールとはいえ、お返しに飲みかわすと30～40分で15.6本飲んだ計算になります。かなり酔が回った頃、例会が始まりました。

ロータリーソングを歌い、早速幹事らしき人から1人づつ紹介があり、挨拶を求められました。酔った度胸で、20～30秒大声でスピーチしたら大変受けました。今でも不思議な気がします。

その後、ワイン・ステーキ・デザートとボリュームのある食事と歓談に花が咲きました。当日はガバナーの参加もあり、写真を撮ったり、本当に賑やかな進行でした。7:30頃になると、日本同様4.5人より伝達らしいスピーチがあり、会場の空気もピーンと張り詰めて何んらかの重大議題へ進展しました。

数人のゲストと私は頃合をみて、退出しましたが、ワインボトルのプレゼントもあり、この2時間のMUで一生涯忘れぬ思い出と、友人を得る事が出来ました。

以上で私の報告は終わりますが、皆様には是非国内外の他のクラブへのMUをお薦め致します。

2度のMUで私は、ロータリーの目的の何かを感じ取る事が出来ました。私自身ロータリーを学び理解するには、多少の時間と多くの努力を要すると思いますが、この体験を忘れる事なく、自分自身の出来る範囲を一步と広げ、高めて行こうと思います。

最後に次回の海外MUの為に、早速、基礎英会話の本を買いました。

★親睦委員会

遠藤 二郎

ニコニコBOX

津戸 最(国立RC) お招き頂き有難うございます。

土方 弘治(多摩RC) 初めての出席です。今後とも宜しくお願い致します。

守屋 隆範(多摩RC) 前回に続いてお邪魔します。

由井 重光 元多摩中分区代理 津戸さんを講師にお迎え出来て。

田中 實 狛江多摩川RCのチャーターナイトに参加して感激を新たにしました。

大熊 将夫 10/31 第1回例会日の出席率、100%でした。今後も頑張っていきたいと思います。

橋口 洋三 11/3 長女が結婚しましたので。

松原 健 11/5 椿山荘チャーターナイト 大変盛会だったそうで。

◎ 良いお天気に恵まれて、明日は立冬。

海野 栄一 北村 幸彦

菊池 敏 遠藤 二郎

以上合計 ￥37,000円

ロータリー財団月間

ロータリー財団は誰でも参加出来る世界中にわたる国際的な奉仕計画の備わったものであり、これに参加するのに最も理想的な時期がロータリー財団月間である。この月間中、クラブはクラブ・プログラムを財団に集中するようにし、財団の国際的な面と発展、また各種活動に対する絶えざる援助の必要性を強調するようにしているのである。

ロータリー財団の目的は、博愛、慈善、教育的性質を備えた確実でかつ効果的な企画によって、各国の国民間に理解と友好関係を増進することにある。とくに財団を通して将来の指導者となる感受性豊かな若人を、地球市民の一員として他国の教育期間で勉学させることにより、非公式の「親善使節」として、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与しようということも目的の一つである。これにより国際社会で活躍出来るマナーや心情を早くから身につける事が可能であり、自信

や、ゆとりを培うことも出来るであろう。

「理解による世界平和」というロータリーの目的達成の道に、奉仕の光を当てるためには、会員全員の財団への協力が必要である。財団に対する諸氏の関心と理解が深ければ深い程ロータリー財団の素晴らしいプログラムが、更に確実に実行出来ることはいうまでもないことである。

【卓話】

『即位の礼と大嘗祭』

谷保天満宮宮司 津戸 最

いよいよ11月12日からはすでにマスコミ等で報道されていますように「即位の礼」が行われます。これは昨年1月7日に今上天皇お亡くなりになり、皇室典範の「天皇が崩じたとき皇嗣が直ちに即位する」ことに則り、賢所の儀剣璽等継承の儀及び朝見の儀が執り行われます。



普通民間ですと、例えば社長が亡くなり49日忌が過ぎれば二代目が跡を継ぐというのが普通ですが、皇室では喪の期間が一年ですので、今年の11月12日から23日に行われることになりました。

今上天皇の御崩御は国民の深い悲しみでありましたが、明仁親王新天皇の誕生は悲しみの中にも又慶びがあります。明治からある一世一代の法律が昭和54年に元号法が制定され、今上天皇御崩御の昨年1月7日迄が昭和であり、翌8日から平成の元号となったことは皆様御存知の通りです。

御大典の行事として「即位の礼」と「大嘗祭」が行われますが、「即位の礼」は天皇の即位を国民や諸外国に宣言する儀式であり、君主制であるイギリスの戴冠式と同じ様に王室儀礼の代表的なものです。「大嘗祭」は11月23日の勤労感謝の日に新天皇が即位後、初

めて行う皇室での「新嘗祭」のことを言います。即位の礼が中国の影響を受けているのに対し、大嘗祭は日本民族が瑞穂の国の農耕民族であり、これは純日本的な儀式となります。

「即位の礼」と「大嘗祭」がほぼ同時に行われるのは、喪の明ける一年後と農作物の収穫期である秋という二つの意味があるわけです。本来なら京都御所で行われるのですが、外国からの招待客や警備の都合上、皇宮で行われますが、儀式に使う高御座は京都御所からヘリコプターで宮中に運ばれております。高御座で御自分が天皇になったことを宣言されますと、それに答えて海部首相がお祝いの言葉を述べられて、万歳三唱を行います。同じく大饗は「大嘗祭」に捧げた食物を神様と一緒に頂き、神と人とが一体となる儀式です。

儀式の後新天皇がパレードで赤坂御所までお帰りになるのはテレビで放映されるので、きらびやかな王朝絵巻を楽しまれては如何でしょうか。

しかし、以上のような行事に対し、一部の左翼派の人々が国の宗教活動の禁止や宗教的行事に公金を支出することを禁じた法律に基づき反対運動をしています。外国の例をとりますと、イギリスの戴冠式がキリスト教であることや、アメリカでも故ケネディ大統領の国葬がカソリック教で行われたこと等、天皇が神式で儀式をされることは自然だと思えます。「即位の礼」の費用は宮廷費から出ていること、又「大嘗祭」の費用も内定費(台所の費用)から供出しておりますので、目くじらを立てず、人の道としてお祝いするのが一般的な心情ではないかと思えます。

〔次回卓話予定〕

【会員のイニシエーションスピーチ】



東京多摩グリーンロータリークラブ

*事務局：〒206 東京都多摩市落合 547

多摩センタービル7F ☎ 0423-72-6463

会長：田中 實 特別代表：由井 重光

幹事：宮本 誠 会報委員長：橋口 洋二

*例会日：毎週水曜日 12:30 月の最終例会日 18:30 *例会場：多摩そごうデパート7F サファイアバンケットルーム